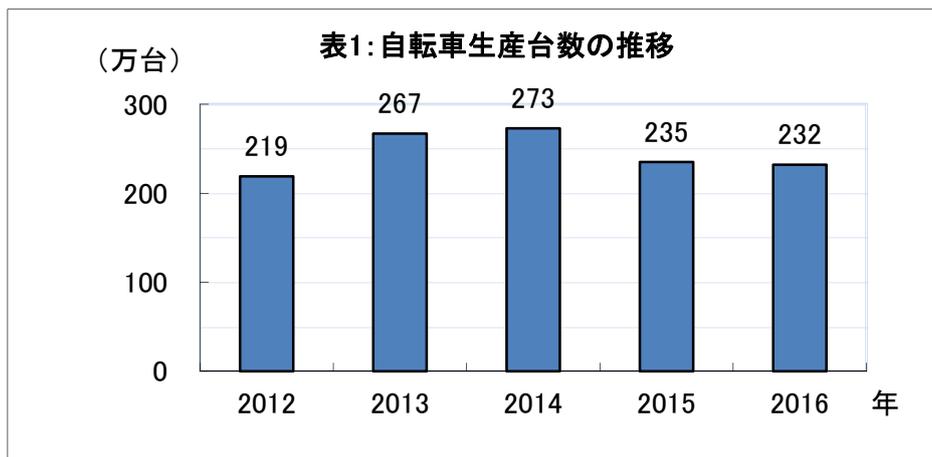


イタリア自転車市況－2016

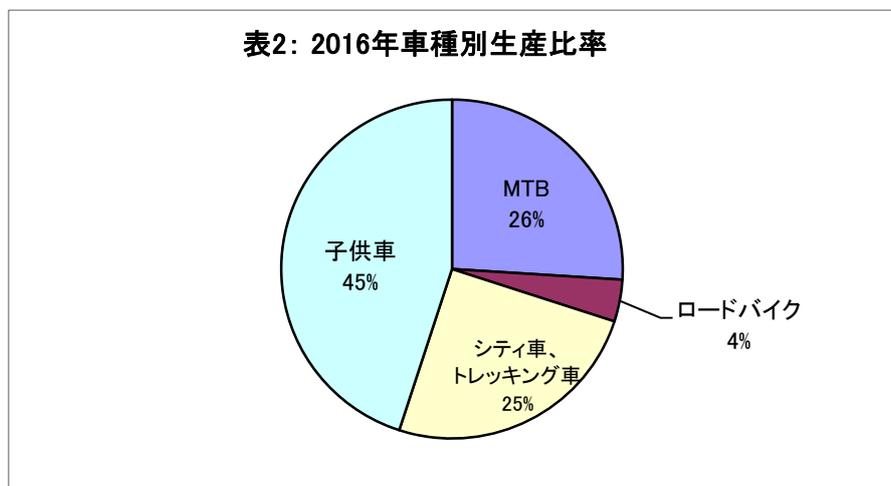
1. 生産

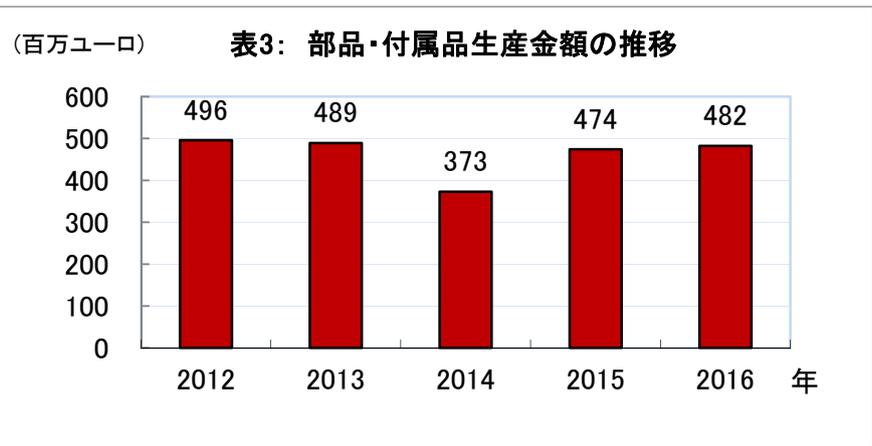
イタリア二輪車工業会(ANCMA)によると、電動アシスト自転車(EPAC)を除く自転車の2016年の生産台数は、前年比1.3%減の232万台となり前年より僅かに減少した。2016年の車種別生産比率では、子供車(※幼児車含む)が前年より2ポイント増の45%と最多比率を占め、生産台数も前年より4万台増の104万台となった。一方、マウンテンバイク(MTB)は同比率26%の60万台(前年63万台)、ロードバイクは4%の9万台(前年12万台)となり、それぞれ1ポイント減少し、生産台数も減少する等、スポーツ車は不調であった。また、シティ車・トレッキング車は前年同様25%を維持したものの、生産台数は58万台となり、僅か8千台だが前年より減少した。

なお、EPACの生産台数は前年比42.2%増の2.4万台となり、数値自体は他車種と比べてまだ小さいが、他車種の多くが低迷する中でも高い増加率を見せた。



※上記数値は電動アシスト自転車(EPAC)を除く

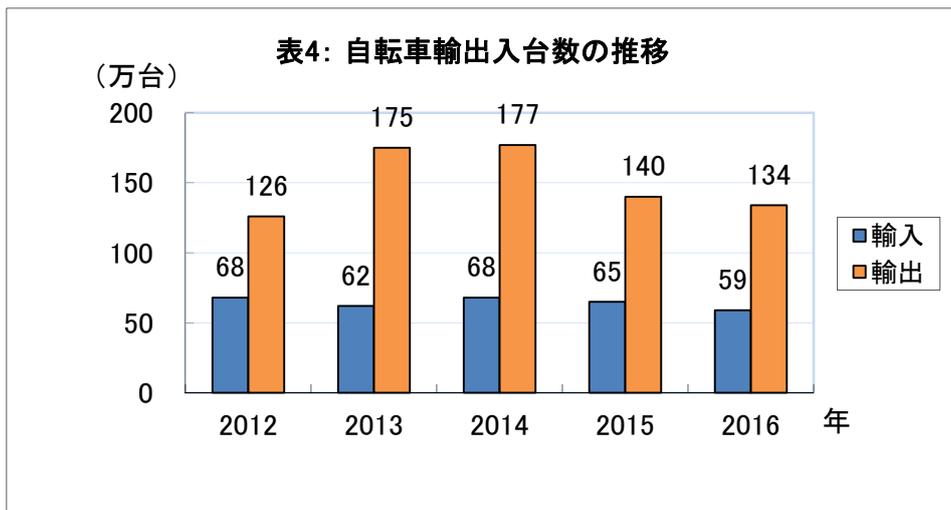




2015年に回復を見せた部品・付属品の生産については、2016年の生産金額は前年比1.7%増の482百万ユーロ(616億円)となり、2年続けて増加した。欧州15カ国(※トルコ含む)の自転車産業団体を傘下に持つ欧州自転車産業連盟(CONEBI)によると、2016年の欧州連合(EU)加盟28カ国の自転車部品・付属品の生産金額はEU28カ国の中でイタリアは首位に位置し、全体の27%を占めている。また、自転車生産台数もイタリアが依然として首位であり、全体の18%に達する。年々、製造部門は減少傾向にあるイタリア自転車産業とはいえ、いまだに欧州の製造拠点の中心である。

2. 輸出入

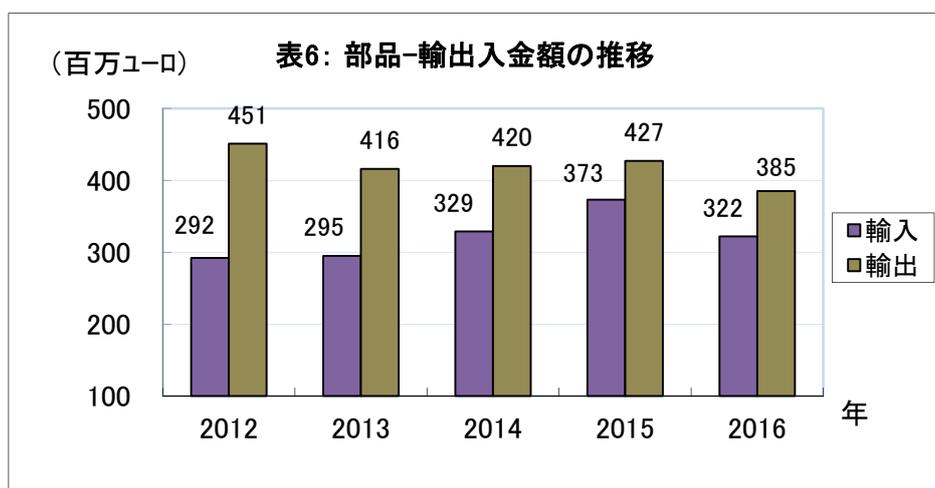
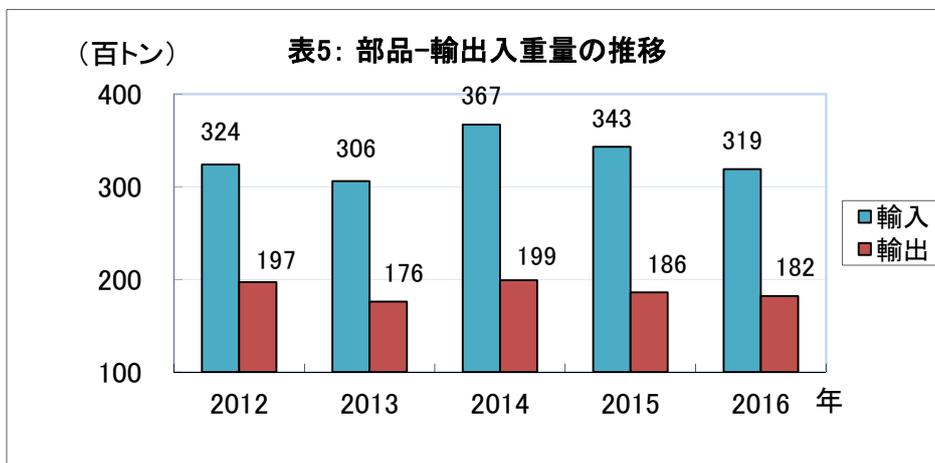
EPACを除く自転車の2016年輸出台数については、前年比4.3%減の134万台となり、2年続けての減少となった。2016年輸入台数も前年比9.2%減の59万台と60万の大台も割り込み、自転車輸出台数は共に前年より減少する結果となった。地域別(輸出入)では、全輸出の98%が欧州向けである。輸入は7割強が欧州地域からであり、アジア地域から2割弱(※うち半数は台湾)、その他からは1割程となっている。



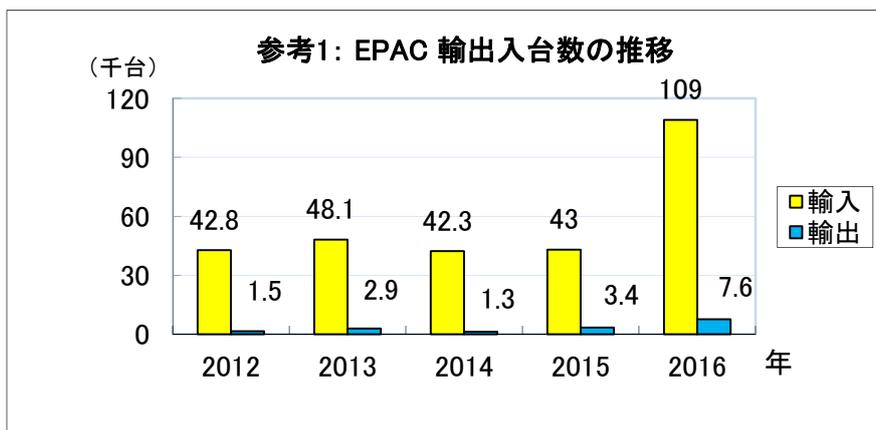
※上記数値はEPACを除く

自転車部品の輸出入について重量ベースで見ると、2016年の輸出重量は前年比2.2%減の

182 百トン、輸入重量は同比 7%減の 319 百トンとなり各々前年より減少した。金額ベースでも、2016 年輸出金額は前年比 9.8%減の 385 百万ユーロ (501 億円)、輸入金額は同比 13.7%減の 322 百万ユーロ (419 億円)となり、金額ベースの減少率は重量ベース以上に大きくなった。地域別の輸出入重量で見ると、輸出の 9 割近くは欧州向けであり、輸入は 6 割が中国からであり、その他アジア地域からは 2 割弱、欧州からは 1 割強となっている。



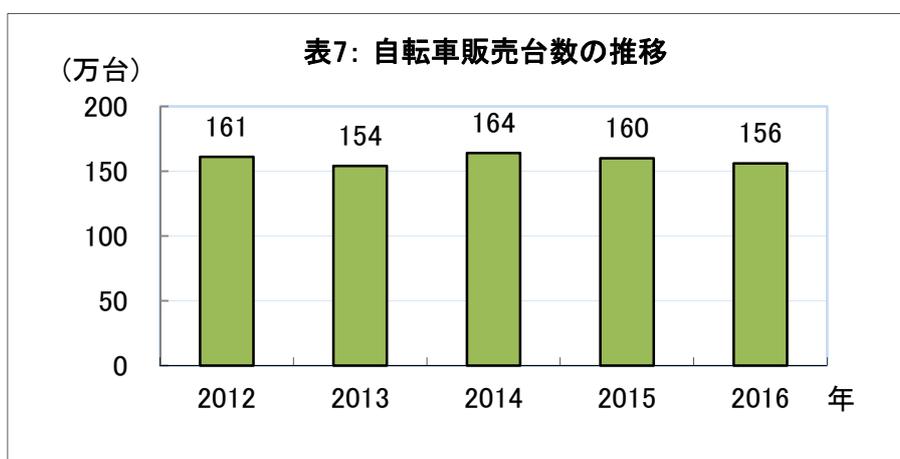
2016 年の EPAC 輸入台数は前年比 153.5%増の 109 千台となり、前年よりも倍増以上の増加を見せた。EPAC 輸出台数も前年比 123.5%増の 7.6 千台と、数値はまだごく僅かではあるが前年より倍増している。輸出入の平均単価で見ると、EPAC を除く一般の自転車の 2016 年輸出単価は 119 ユーロ (15,470 円)、同輸入単価は 214 ユーロ (27,820 円)であるのに対し、EPAC の 2016 年輸出単価は 1,126 ユーロ (146,380 円)、輸入単価は 408 ユーロ (53,040 円)であり、EPAC の輸出入単価の方が高く、特に EPAC の輸出単価の高さが目立つ。



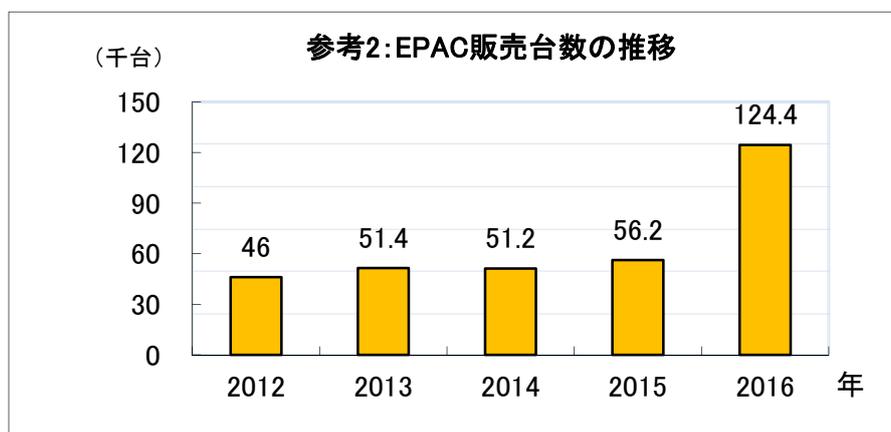
3. 販売

EPAC を含む自転車の 2016 年販売台数は、前年比 2.5% 減の 156 万台となり、2 年続けて減少した。また、電動アシスト自転車 (EPAC) の販売については、2016 年は前年比 121.4% 増の 124.4 千台となり、前年より倍増以上の急激な販売台数の増加を見せた。

イタリアにおける EPAC 販売は、かつては廉価な輸入車が主体であったが、近年はボッシュやシマノ等の電動ドライブユニットを装着した欧州ブランド車も増えている。現在、EPAC ブームに沸く独蘭両国に続きブームが始まったとされるフランスに次いで、いよいよイタリアでもブームが本格化したのか、今後の EPAC 販売台数の推移がより一層注目される。一般自転車の市場動向が軟調な中、EPAC は生産・輸出入及び販売とすべての面において、前年より伸びており、付加価値の高い商品として今後の成長が期待されている。



※上記数値は EPAC を含む



以 上

統計出所：ANCMA、CONEBI（表 3）